



## 坪院長の健康講座

### 膀胱腫瘍(癌)について ＝前編＝

院長 坪 俊 輔

喫煙者の発病率は非喫煙者と比べ2～4倍多く、発症も平均5～6歳早

子としては「喫煙」があげられます。膀胱癌発症の最も身近な危険因子として「喫煙」があげられます。喫煙者の発病率は非喫煙者と比べ2～4倍多く、発症も平均5～6歳早

図示しましたように、腎臓で作られた尿が体外に排泄されるまでの通り道を覆う細胞を「尿路上皮」とい、ここにできる腫瘍(癌)の中で最も多いのが「膀胱癌」です。膀胱癌は希

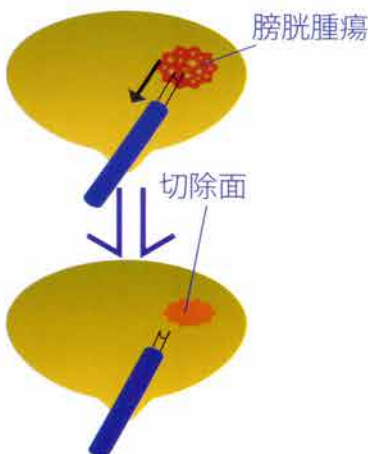


内再発の頻度が高く、時には腎盂や

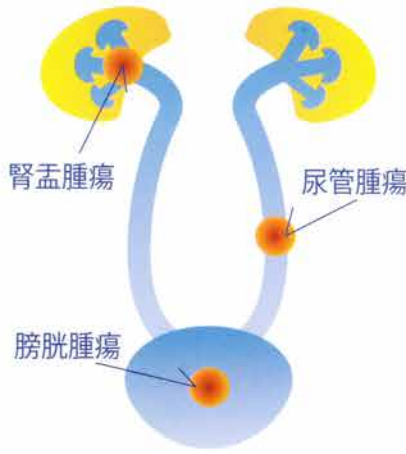
腫瘍の完全切除を第一目的とするのは勿論ですが、切除標本の病理検査で腫瘍の「悪性度」「進達度(根の深さ)」などを知ることが追加治療の必要性を決定する根拠となります。なお、内視鏡手術で完全切除できたと判断された症例でも、膀胱癌は膀胱

をを行います。

膀胱腫瘍を疑ったならば、外来的に膀胱鏡検査を行うことで殆どが診断可能です。しかし一部に炎症と見分けが付きにくい癌もあり、この場合には組織検査の結果を待たなければなりません。(膀胱鏡検査には多少の痛みが伴いますが、現在の膀胱鏡は軟性鏡で以前と比べて痛みは格段に少なく、外来的に十分行える検査です。)他にCTなどの画像診断、尿細胞診が有力な補助検査です。膀胱腫瘍の診断がつけば、入院の上麻酔をかけ経尿道的内視鏡下腫瘍切除術を行います。



【経尿道的内視鏡下腫瘍切除術】



【尿路上皮腫瘍】

尿管に再発する事もあり、定期的経過観察は必ず必要となります。以上、今回は主に膀胱腫瘍の疫学・症状・診断につきお話ししました。経尿道的手術後の追加治療については、次号いぶりぶでお話する予定です。

# 北海道ストマリハビリテー ション講習会に参加して

看護師 丸山 敦子



私は外来で何人かのストーマを造設された患者様を担当させて頂き、患者様やご家族から相談を受けたり、皮膚のトラブルにも対応して来ましたが、この方法で本当に良かったのか?と迷うこともあり、より良い看護を提供出来るようにと思い6月13日から3日間、北海道がんセンターで開催された「ストマリハビリテーション北海道」の講習会に参加してきました。

20時間に渡り現場に関わる医師やWOCナースの講習を受け、全道各地から集まった看護師と一緒に行ったグループワークや実習を通して、多くの事を学んできました。中でも「インターネットが普及している現在、ストーマ造設が決まった患者様の中には、自分で調べマイナスイメージを持って入院される方もおり、入院日数が短縮している今、手術までの短期間で正しい知識を説明して行くのは困難である」という話が印象的でした。さらに、「手術後に戸惑いなくストーマのセルフケアを進めて行くには術前に患者様のストーマに対する正しいイメージ化が出来ているかが重要になる」という話から、術前の外来での関わり、オリエンテーションの重要性を強く感じました。



## 新人さん紹介

○事務部○三木 志織さん

気配りのできる人材に…

早く一人前になりたい!と頑張るのは、6月から当院の受付窓口仲間入りした三木志織さん。一見気難しそうに見えるが、小学生からバレーボールに打ち込む根っからのスポーツウーマン、現在も地元の人権チームに所属するアタッカーだ。

「明るく社交的」が自らの評価。有珠で生まれ育ち、子どもころは海へのダイブなど、「今考えるとかなりやんちゃだった」と他人事のように振り返る。家にあったパソコンをいじるのが好きで、事務への関心が高まった。医療事務は親のすすめもあり、地元高校を卒業後、札幌の専門学校へ進学、資格を取得した。

どこことなく末っ子の雰囲気。どことなく末っ子の雰囲気。どことなく末っ子の雰囲気が漂うが、意外にも弟と妹を持つしっかり者の長姉だという。今後は「何よりも早く一人前になること」とスポーツウーマンらしく目標はぶれることがない。室蘭のYOSA KOIチーム

にも参加する積極的な性格を前面に、「気配りのできる人材に…」と目を輝かせている。



### ホールの機能

○：伊達市民待望の施設であつたホールの誕生から、早いもので来年20年が経とうとしています。思い返してみれば、ホールに関しての間違った認識が、当時は歴然としてありました。それは「専用ホール」と「多目的ホール」の機能に関することで、「多目的」に対する間違つた捉え方が、私には危険なものに感じられ、仕方がなかつたのです。

○：ともかくホールには用途によって個性があり、利用目的にはおのずと限界が生じてくるということ。これを都合よく組み替えることは、ある種の障害となる。そのことを当時は心配に思い、レポートにまとめ市へ提出したことを思い出します。「市民待望の施設が実現することとは喜ばしいことに違ひなく、市民の総意で有効に活用されることを願いたい」と最後に書き加えた記憶があります。

○：「専用」とは、オペラハウスやコンサートホールであつたり、日本でいえば歌舞伎場や能舞台のような、単一の公演にだけ使うホール。一方の「多目的」はコンサートはもちろん演劇や講演など、言葉の通り、あらゆるジャンルで使えるホールを指します。当時はこれに軽スポーツや展示までも含む捉え方で、それはホール本来の機能の枠を超えた考え方でした。

○：もうひとつ、「音響」に関する捉え方にも根本的な勘違いを感じました。電氣的に設定することを、ホールの音響と考えていたようです。いうまでもなく、電気のない時代からホールはあり、本来の音響とは生音や肉声、いかに客席に届くかが音響でした。現在では電氣的に拡声することも多くあるので、間違ひとも言い切れないのです。○：ともかくホールには用途によって個性があり、利用目的にはおのずと限界が生じてくるということ。これを都合よく組み替えることは、ある種の障害となる。そのことを当時は心配に思い、レポートにまとめ市へ提出したことを思い出します。「市民待望の施設が実現することとは喜ばしいことに違ひなく、市民の総意で有効に活用されることを願いたい」と最後に書き加えた記憶があります。

# 性機能障害(勃起障害)によく使用される PDE 5 阻害剤について



薬局長 坂東 昌志

## PDE 5(phosphodiesterase5)阻害剤とは

PDE 5は、神経および血管内皮から出る一酸化窒素 (nitric oxide; NO) が産生するcGMP(cyclic guanosine monophosphate) を分解する酵素です。cGMPは、平滑筋に作用して弛緩させます。PDE 5阻害剤は、PDEの作用を競合的に阻害して、海綿体平滑筋細胞内のcGMP濃度を増加させます。そして、性的刺激に反応して起こる陰茎海綿体平滑筋を弛緩し、血流を増加させて勃起を促進させます。

日本では3種類の薬が処方可能で、食事と服薬との関係、効果持続時間などに違いがあります。この相違点は次のようになっていきます。

●シルデナフィル(バイアグラ®)

- ・内服後30分〜60分で効果発現
- ・作用時間Ⅱ約4時間

・食事により吸収・効果発現の遅延が認められる。

●バルデナフィル(レビトラ®)

- ・内服後約30分で効果発現
- ・作用時間Ⅱ約4時間

・食事の影響を受けない。ただし高脂肪食では効果が減弱する。

●タダラフィル(シリアス®)

- ・内服後約30分で効果発現
- ・作用時間Ⅱ約36時間
- ・食事の影響を受けない。特徴的な副作用は背部痛。



### ◆副作用／併用禁忌など

心臓病(狭心症など)に使用される硝酸剤との併用は、血管拡張作用が増加して危険なレベルまで血圧低下を起こすので、併用禁忌です。その他にも注意を要する薬や病気がありますので、医師や薬剤師に相談してください。

PDE 5阻害剤には特異的な副作用があり、頭痛、消化不良、顔面紅潮、鼻づまり、視覚異常などが代表的です。

勃起障害は、心因性や器質性など、様々なリスクファクターが考えられます。適切な診断と治療を行うためにも一人で考え込まずに、お気軽に当院へ相談していただくことをおすすめします。

## 開院9周年記念 パーティー開催

当クリニックの開院9周年を祝うパーティーが7月6日、市内のホテル・ローヤルで行われました。開院時に掲げた理念を忘れることなく、地域医療の中核を担う使命と、各スタッフの高い意識を喚起する目的で毎年行っています。



坪院長のあい

さつで始まった式典は、恒例の仲山副院長の乾杯でにぎやかに祝宴に移り、出席者が懇親を深めました。今春、新たに当院に加わった新人4人も紹介されるなど、終始和やかな雰囲気で行い、開院時に誓った「専門病院として地域医療に貢献しよう」といった理念を再認識、職員一丸となり高い意識を持続し、さらに地域社会に貢献することを誓い合いました。





今回は透析生活を快適に過ごせるようにどのような工夫をされているか？  
インタビューをさせていただきました

## 患者さんに聞いてみました

Q: 透析をするようになって、一番辛かったことはなんですか？

A: いろいろ制限 (食事・水分・外出など) されること。

Q: どのようにしてのりこえましたか？

A: 家族の支えです。また自分も透析としっかり向き合うことで、透析に対する見方や知識も変わり、制限がある中でも自分の人生を楽しめるようになりました。

Q: 水分・食事管理をする上で、工夫していることはありますか？

A: DWの3～5%になるように、1日3回 (+外出からの帰宅時) 体

重計に乗って把握する習慣をつけました。食事も単品ではなく、品数を増やして満足感を得て、間食をしたいという気持ちが強くならないようにしました。また、リンやカリウムが高いものを食べたときは、メモや日記に記録するようにしました。

Q: 透析ライフを送る中での生きがいや楽しみはなんですか？

A: 孫と遊ぶこと。旅行。夫婦でパークゴルフに行くことです。クリニックスタッフの方と話をすることも楽しいです。



食べ物をメモに残したり、体重を測って増えた量を把握する習慣を付けるなど、透析生活を送る中でとても参考になるコメントを頂きました。当クリニックでは、ドライウェイトに対する体重増加率を1日空きで3%、2日空きで5%以内と推奨しています。安全に透析を受けられ、身体に負担をかけずに帰宅できるよう、食事・水分のコントロールに気を付け、頑張っていきましょう。

《透析室より》



悩みは万病の元  
その悩みひとまず  
**弁護士へ**  
無料法律相談  
※秘密厳守

### 当院の顧問弁護士が、悩みの相談に応じます。

悩みを引きずらず、思い切って相談してみましよう!

借金・債務整理

相続・遺言

■相談無料■

交通事故

離婚問題

etc.

担当弁護士 上田 勝啓 (札幌弁護士会所属)

●ご希望の方はお気軽に当院の横井事務長までご一報ください。

☎0142-21-1400(代)